

# ひかり野

## Saga University Library Bulletin

No.35

July 2011



# 目次

## CONTENTS

ご挨拶 館長 .....	1
「いいね!」と感じ「シェアする」すること 副館長 .....	2
「あげる佐賀48」プロジェクト .....	3
さらりーず(学生選書)の活動 .....	4
ライブラリーラバーズ(Library Lover's Week)の活動 .....	5
文献データベース・文献管理ツールの導入に向けて .....	6
貴重書の電子化 .....	6
平成22年度図書館月間を開催 .....	7
被災地域の大学・短大に在学中の学生へのサービス .....	7
「佐賀大学附属図書館」看板の設置 .....	8
防災訓練の実施 .....	8
受入資料紹介 .....	9
図書館統計 .....	10
人事異動 .....	14
図書館日誌(行事・会議・研修等) .....	15
貴重書紹介	





## ご挨拶

館長 稲岡 司

早いもので2年目を迎えることになりました。昨年は館長・副館長のみならず、事務サイドも部長以下「総取り替え」になったために大変な戸惑いがあったのですが、アイデアマンの課長や長年図書館業務に携わってきた副課長や係長、そして常勤・非常勤のスタッフのおかげで、下に書きましたように、ここ1年間で様々な「目に見える活動」を行なうことができました。

まず教育支援としては、佐賀大学の全学部生に対して図書館利用アンケートを実施し、その結果（回答率36.3%）をもとに、図書の品揃えを充実させるとともに、大規模な除籍を行なって収容可能冊数を増加させました。また、ウェブサービスとして、図書内容紹介、教職員お薦め本、ブックレビュー、読書プランなどを開始しました。一方、大学の図書館としては珍しい学生による選書を恒常化させ、その委員会を「さらりず」と命名して図書館内外で各種の活動を行いました。

次に研究支援としては、電子ジャーナルでは4パッケージを提供し、文献検索データベースでは19種類を提供してきましたが、電子ジャーナルの高騰化は大変頭の痛い問題です。これに対しては、昨年、国内の国公立大学がすべて加入できるコンソーシアムを作り、電子ジャーナルを提供する出版社と積極的に価格交渉を行い始めましたので、まずはこれに期待したいと思っております。一方、要望が強いものの未契約の文献検索データベースについては、無料利用体験を行ないながら、本学の学生や教職員にとって最もコストパフォーマンスの良い電子リソース環境を模索しております。

最後に社会貢献に関しては、一般市民に図書館を開放する一方、秋の図書館月間には講演会等を開いて市民の参加を呼びかけております。さらに、機関リポジトリシステムを使って本学の教育研究活動等の成果を収集・蓄積し、広く学外に公開しております。

以上簡単にまとめましたが、この他に日常業務として在庫管理や窓口業務、さらに貴重図書の電子化や新入生を対象とした情報リテラシー教育を行っております。昨今、図書館業務の外部化が議論されませんが、上記の仕事を有機的・効率的に行うには職員の専門性のみならず職員相互の連携が大変重要なことは明らかで、これらを朗らかに淡々とこなす職員の方々には本当に頭の下がる思いです。本年も昨年に増して面白い企画や活動を考えておりますので、「変わりゆく佐賀大学附属図書館」に対して皆さまのご理解とご支援をお願いする次第です。



## 「いいね！」と感じ「シェアする」すること

副館長 吉田 裕樹

ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) が大流行している。少し前にブレイクした、140文字以内でつぶやく Twitter、そして今なら、創設者の伝記(?) 映画が話題になった Facebook (FB)。Twitter は、東北東日本大震災の時にその速報性・拡散性が役に立ったと言われ、テレビが映らない現地にも地震情報がいち早く伝わり、また、被災地・避難所の状況や必要とされる物資等の細かな情報が救援・支援する側に伝わってきた。一方の FB は、柔軟なグループ性とも言うのか、元々「大学の同窓生連絡網」として発達した経緯もあり、今回の震災でも、職業や地域と言う点で関連する人たちとつながっていける仕組みを利用して、同じ目的を持つ人たちの「グループ」—たとえば被災地に向かう医療チームによるグループ—が数多く作られ、必要な情報、そしておそらくは志を伝達・共有することに今なお役立っている。

SNS には情報を共有し拡散する仕組みがある。メディアやブログ、SNS で得られた情報をそのまま、あるいは自分の意見を加えて発信すると言うもので、特に FB では「いいね！」ボタンをクリックすることで自分がその情報に興味を持ったことを示し、さらに「シェアする」ボタンを押すことでその情報を周囲の人に知らせることができる。ここには共有したいという価値観や意思・意図が働いており、新しい形・仕組みで人とつながろうという気持ちが動いている様に思われる。

図書館の仕事に携わるようになって、図書館、そして(大学の所蔵する)本や雑誌の意味が大きく変わってきていることに改めて気づかされる。学生が本を読まなくなっていることも問題の一つである。若者の活字離れは今に始まったことではないが、たとえば「IQ84」や、はやったドラマや映画の原作などは当図書館でも予約が殺到していたと聞いている。つまり、学生が全く本に興味がなくなったということではなく、何らかの形で話題になった本やメディアに取りあげられた本は、読みたい・読んでみたいと思っている学生がたくさんいると言うことであろう。一方、図書館は学生に本を読んでもらうために様々な工夫をしており、学生選書もこの一つである。メンバーに応募した学生が、自分が読みたい本や人に薦めたい本を選ぶもので、その「なぜ読みたいか、なぜ読んで欲しいと思うか」を聞くのは非常に面白い機会であった。それは、感想文や書評と言った堅苦しい形ではなく、学生たちの興味や共有したいという気持ちが、たとえたどたどしい表現であったとしてもストレートに伝わってきたからであろう。

保育園に通う子どもが、友達に見せるために家の本を園に持って行きたがる。そこからは、自分が面白いと思った本を人に教えたい、一緒に読みたいと言う単純で純粋な気持ちが伝わってくる。園児と大学生を一緒にしては申し訳ないが、この「いいね」と思う気持ち、そして「シェア」したいと思う気持ちを育むことは、学生に一冊でも多くの本を手にとってもらう機会につながるのではないかと考えている。それは、昨今の SNS の流行とその理由を考えると、ある本を手にした人の気持ちがなんらかの形で発信されれば、それはきっと拡散し、共有されていくと感じているからである。

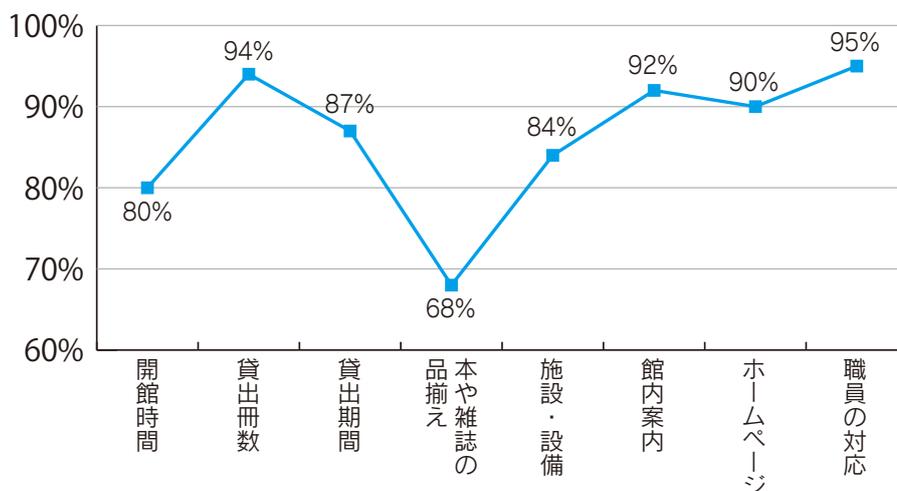
## 「あげる佐賀48」プロジェクト

平成21年度に受審した大学機関別認証評価において、「学生用図書の一層の充実が望まれる」という指摘を受けました。また、佐賀大学の学生一人当たりの貸出冊数は4冊と、全国的にも低いレベルに留まっています。附属図書館では、「あげる佐賀48」という館内プロジェクトを起ちあげ、図書館アンケートを実施し、利用条件の改善や学習環境の整備などを行いました。

### ○図書館アンケートの実施

平成22年10月に全学部学生に対して図書館の利用に関するアンケートを実施し、36.3%の回答率を得ることができました。ご協力ありがとうございました。

図書館サービスに対する満足度



### ○利用条件の改善

平成22年6月に、利用条件の改善を行いました。本館・医学分館ともに平日の開館時刻を、それまでの9時から8時40分(1校時開始時刻の10分前)へ変更しました。同時に、本館の学部学生等の貸出可能冊数を5冊から10冊へ増冊し、利用が増加しました。

10月のアンケート結果をもとに、さらに開館時間を見直し、開館時刻を8時40分から8時30分(1校時開始時刻の20分前)へ変更、本館では授業期の閉館時刻を20時から21時10分へ変更しました。また月1回の定例休館日を廃止することにしました。

平成23年4月より実施しています。



本館 1階閲覧室

### ○閲覧環境の整備

閲覧スペースの拡充・充実のため、閲覧室に書架を増設し、収容可能冊数を7,000冊(本館5,000冊、医学分館2,000冊)増やしました。医学分館では、閲覧室の配置の見直しを行い、閲覧機の増設など有効に活用できるスペースを確保しました。

### ○学生用図書の整備

22年度は通常の学生用図書購入(4,200冊)に加え、自然科学・工学系の図書を2,200冊購入しました。また、シラバスに記載されている参考図書は毎年ほとんど揃えています。



医学分館 1階閲覧室

## さらりーず(学生選書)の活動

読書奨励企画の一環としておこなっている学生選書の活動は、今年で5回目となりました。今回から、活動の名称が「さらりーず」と親しみやすいネーミングとなり、活動内容も、学生選書ツアー、本の展示、職場体験など、さらに盛りだくさんとなりました。

夏休みには恒例の学生選書ツアーを2回行いました。福岡市天神のジュンク堂、佐賀市の紀伊國屋書店にて実施し、学生は図書館に置きたい本を積極的に選書し、悩みながらも満足げでした。また、福岡市総合図書館と佐賀県立図書館の施設見学では、普段見なれた大学図書館とは違うバックヤードやディスプレイを見学し、学生・職員共々よい刺激となりました。



選書風景



また、今年初の試みとして、学生選書コーナーの展示の飾りつけと職場体験を行いました。展示は、展示委員となった学生とともに展示グッズを買いに行き、それを使って学生の目をひく工夫がこらされたコーナーを作りました。職場体験では、自分たちが選書した本のラベル貼りやのり貼りをおこないました。図書館の裏方の仕事が体験できて学生も楽しんだようです。



展示の飾りつけ



職場体験

最終的には335冊の本が購入され、図書館の中でも人気のコーナーとなっています。今後もこのような活動を続け、学生の読書離れを食い止める一助となればと思います。

## ライブラリーラバーズ(Library Lover's Week)の活動

Library Lover's Weekキャンペーンの  
ポスターおよびロゴマーク(2種類)



ライブラリーラバーズの活動は、2010年が国民読書年に制定されていたことから、大学においても学生に図書館の存在を再認識してもらい、図書館利用の促進、来館者数増加をはかることを目的として行った活動です。九州地区の各大学図書館の若手図書館職員が中心となり、キャンペーン活動を行いました。

具体的な活動内容は、秋の読書週間期間(10月27日～11月9日)に「Library Lover's Week」として、『オスズの1冊』学生コンテストを実施しました。

このコンテストでは、学生から「オスズの1冊」を挙げてもらい、それを紹介するコメントをWEBとポスターで募集しました。コメントのテーマは「勉強の合間に読みたい本、就活に役立つ本、無人島に1冊だけ持っていく本、新入生に読んでほしい本、ほっと癒される本」と5つ設けてコメントを書きいただきました。応募コメントは九州地区における参加館内及びキャンペーンホームページ上などから人気投票を行い、その結果、上位となった図書を各館で購入し、コメントと一緒に館内のLibrary Lover's Weekコーナーに展示しました。

佐賀大学図書館の本館では、館内のLibrary Lover's Weekの特設展示コーナーで、お気に入りのコメントを読んだ皆さんがシールを貼って投票する形式での人気投票コンテストを実施して、大いに盛り上がりました。

ライブラリーラバーズ活動は2011年も実施予定です。さらに楽しい活動になるよう職員一同がんばりますので、ご期待ください。



本館 Library Lover's Week 特設展示コーナー

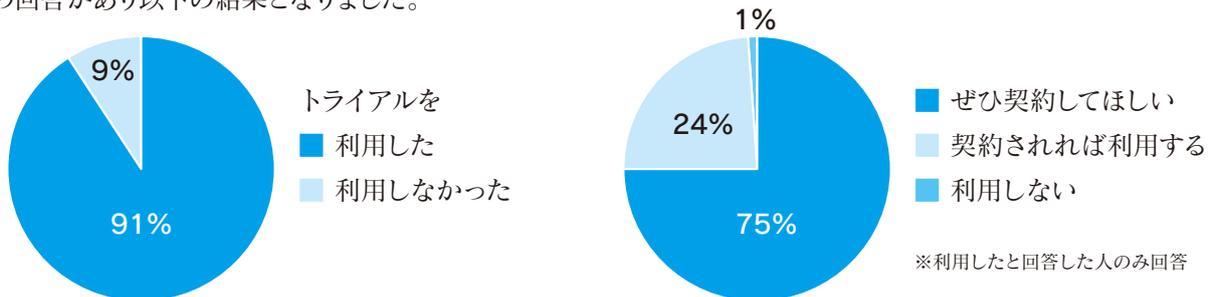


医学分館Library Lover's Week 特設展示コーナー

## 文献データベース・文献管理ツールの導入に向けて

平成22年11月、情報戦略本部からの情報戦略に対する意見招請があったのを契機に、図書館にとって長年の悲願であった引用文献データベースの導入に向けたプロジェクトを発足させました。学内の研究者に対して、文献データベースで「探す・調べる」、電子ジャーナルで「読む・見る」、文献管理ツールで「管理する・整理する」という一連のプロセスの合理的・効率的な連携を実現しようとする内容です。

平成23年1月に各学部教授会で広報を行い、2月中旬から3月にかけて引用文献データベースScopus、3月に文献管理ツールRefworksのトライアルを行いました。Scopusは約500台のパソコンから1300回以上のアクセス、4500回の検索、7000件の電子ジャーナル連携利用が行われました。並行して実施したWebアンケートも141名からの回答があり以下の結果となりました。



記述式の回答においても多くの大学院生から導入の必要性が訴えられました。Refworksについては、残念ながらトライアル、アンケート結果ともはかばかしいものではありませんでした。23年度は、トライアルやアンケート結果を踏まえ特にScopusの導入に向け図書館を挙げて活動を行っていきます。

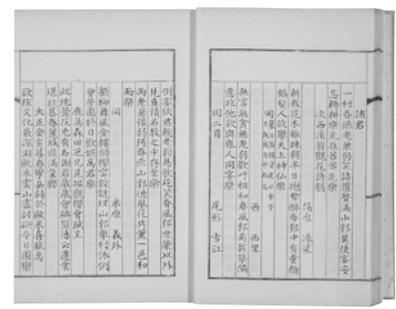
## 貴重書の電子化

平成22年度は「市場直次郎コレクション」の中から以下の21点の電子化を行い、佐賀大学電子図書館「とんぼの眼」において公開しました。

区分	書名	区分	書名	区分	書名
総記・附漢学	弘道館記述義	総集	鳳文龍采帖	狂詩・狂文	半可山人詩鈔
総記・附漢学	準訳開口新語	総集	西溪遺稿	狂詩・狂文	江戸繁昌記
総記・附漢学	開口新語	総集	山荘唱和集	狂詩・狂文	東京開化繁昌記
総記・附漢学	訳準笑話	別集	遊江吟	狂詩・狂文	東京新繁昌記
総記・附漢学	奇談一笑	狂詩・狂文	狂詩百色染	狂詩・狂文	柳橋新誌
総集	殉難後草	狂詩・狂文	太平楽府	狂詩・狂文	柳橋新誌
総集	殉難遺草	狂詩・狂文	娛息齋詩文集	狂詩・狂文	東京新橋雑記

蓮池藩の儒官を務めた岡白駒が著した「開口新語」や、多久の炭鋤王、高取伊好の遺著でその長男九郎らがまとめた「西溪遺稿」・「山荘唱和集」なども含まれます。ぜひ「とんぼの眼」貴重書コレクション

<http://www.dl.saga-u.ac.jp/OgiNabesima/>でご鑑賞ください。



西溪遺稿

## 平成22年度図書館月間を開催

附属図書館では、地域に根ざした生涯学習の拠点としてサービスを提供するという目的のもと、毎年11月を図書館月間として催しを行っています。平成22年度は「シュガーロードと和菓子の現状」というテーマのもとに株式会社 村岡総本舗の村岡由隆氏の講演会を開催しました。

また、資料展示は、講演会のテーマに基づきまして、肥前のお菓子や月間佐賀文化の図書、お菓子の材料である、和三盆などの砂糖3種、小豆3種、糸寒天、棒寒天、羊羹の包み紙、羊羹の歴史の写真などの展示を行いました。

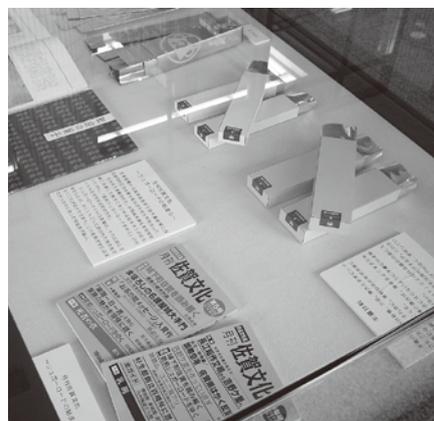
### 講演会

会 場： 佐賀大学附属図書館本館4階会議室  
 日 時： 11月11日(木) 14:00～  
           「シュガーロードと和菓子の現状」  
 講演者： 株式会社 村岡総本舗  
           取締役 企画室長 村岡 由隆氏



### 資料展示

会 場：  
 佐賀大学附属図書館  
 本館1階エントランスホール  
 日 時： 11月8日(月)～19日(金)



## 被災地域の大学・短大に在学中の学生へのサービス

平成23年3月17日から東日本大震災で被災された地域の大学・短大に所属する学生を対象に、本学の附属図書館の施設、サービスを本学の学生と同様に利用できるようにしました。

サービス内容 館内資料の閲覧

資料の貸出 10冊 …… 2週間 (本館)  
 5冊 …… 2週間 (医学分館)

## 「佐賀大学附属図書館」看板の設置



平成22年9月「佐賀大学附属図書館」の看板を設置しました。

館名は、文化教育学部 竹之内裕章(幽水)教授に揮毫していただきました。

竹之内先生によれば、「1800年前、魏という国がありました。鐘繇という書の名人が書いた文字を参考にして書きました。この文字は扁平でどっしりと落ち着いており何者にも動じない不動の安定感のある文字です。学問追求の場である図書館にふさわしい雰囲気を持った文字と取り上げた次第です。」とのことでした。

この看板設置により、さらに風格が増し、威風堂々たる建築物となりました。

## 防災訓練の実施

附属図書館本館では、平成22年9月27日佐賀大学の防災訓練の一環として地震発生後図書館2階で火災が発生したと想定して実施しました。

初めての防災訓練でもあり、不慣れなことも多く今後とも防災訓練を実施していくことの重要性を痛感しました。

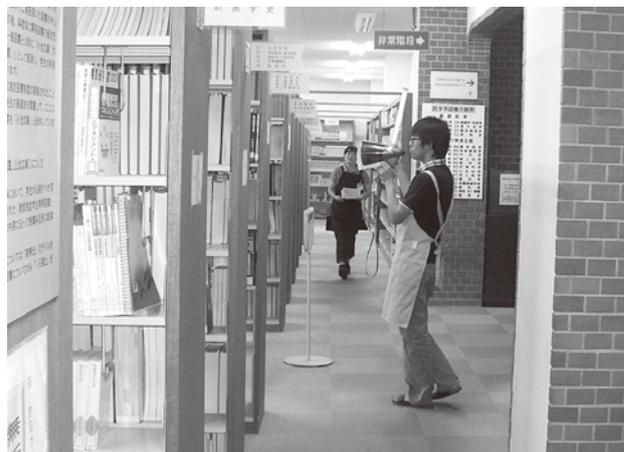
医学分館では、平成18年度から消防訓練を実施して今回で3回目となりました。

訓練は、平成22年8月20日図書館2階で火災が発生した想定で実施しました。

これまで休館日に実施していた訓練を開館日に変更して、館内にいる利用者の方にも全員避難に参加していただきました。また、夜間の学生アルバイト職員にも今回初めて訓練に参加していただき、いい経験をしていただくことができました。



本館



医学分館

## 受入資料紹介

### 学生用図書

平成22年度学生用図書費により、以下のとおり図書を購入しました。

教員推薦図書	1,700冊
学生推薦図書	313冊
図書館推薦図書	1,210冊
継続購入図書	326冊

### 寄贈図書

#### ○大学関係者著作図書

医学部 新地浩一教授

[单著]歌集 戦なき国/新地浩一著 砂子屋書房

#### ○その他

元農学部 宮崎貞巳教授

C.P. Thunberg's drawings of Japanese plants : icones plantarum japonicarum Thunbergii / [C.P. Thunberg] ; edited by Y. Kimura and V.P. Leono

v. Maruzen

本草図譜/岩崎灌園著 1 - 6 同朋舎出版

本草図譜総合解説/北村四郎, 塚本洋太郎, 木島正夫共著 同朋舎出版

成形図説/曾繁, 白尾国柱[ほか]編 国書刊行会

經史證類大觀本草/唐慎微撰 ; 艾晟校定 ; 木村康一, 吉崎正雄編集 廣川書店

日本誌 : 日本の歴史と紀行/エンゲルベルト・ケンペル著 ; 今井正編訳 霞ヶ関出版

日本植物記/本田正次著 東京書籍

香りと文明/奥田治著 ; 講談社サイエンティフィック編集 講談社

花古事記 : 植物の日本誌/山田宗睦著 八坂書房

日本香料史/山田憲太郎著 同朋舎

外220冊

# 図書館統計

〈平成23（2011）年3月31日現在〉

## 基盤統計

蔵書冊数

(冊)

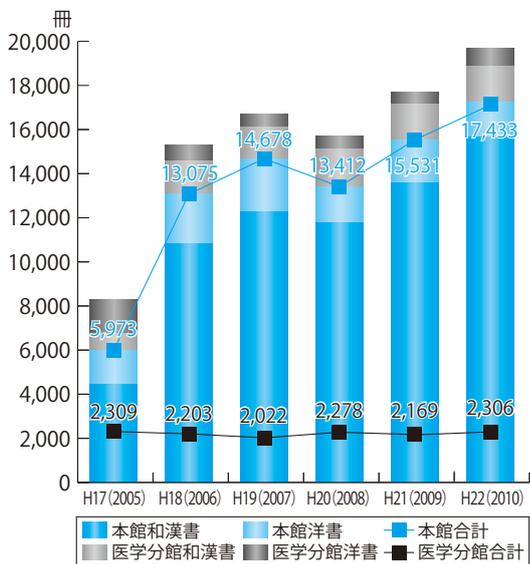
	和漢書	洋書	合計
本館	437,132	176,256	613,388
医学分館	64,653	44,833	109,486
合計	501,785	221,089	722,874

雑誌所蔵種類数

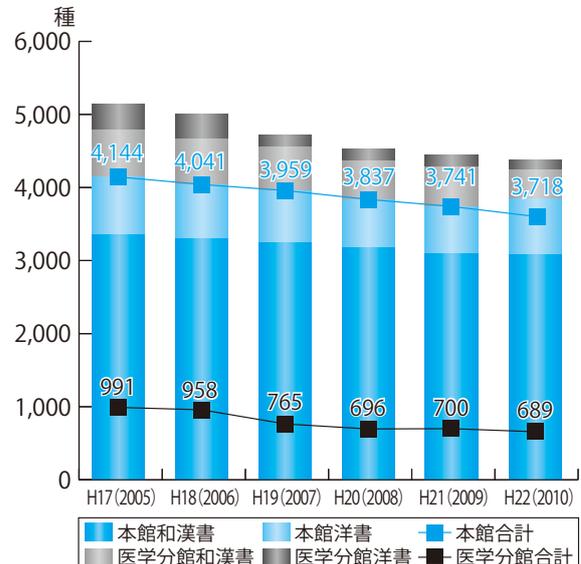
(種)

	和漢書	洋書	合計
本館	6,489	2,964	9,453
医学分館	1,223	1,111	2,334
合計	7,712	4,075	11,787

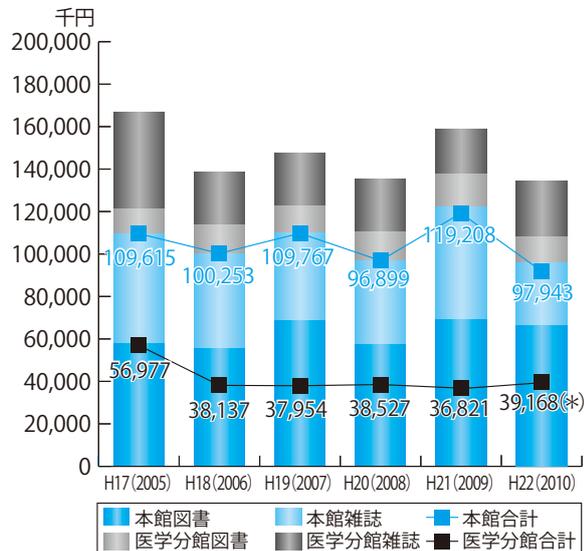
図書受入冊数



雑誌受入種類数

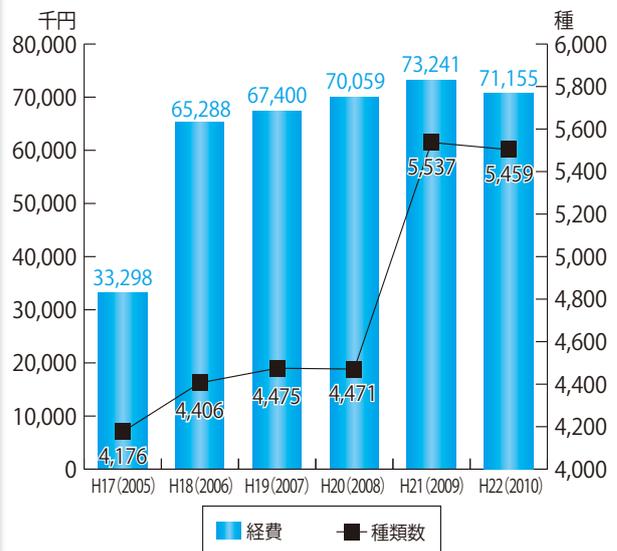


図書館資料費



\*: 電子ブック1,197、LWW電子ジャーナル2,921含む

電子ジャーナル経費と種類数



サービス統計

開館日数

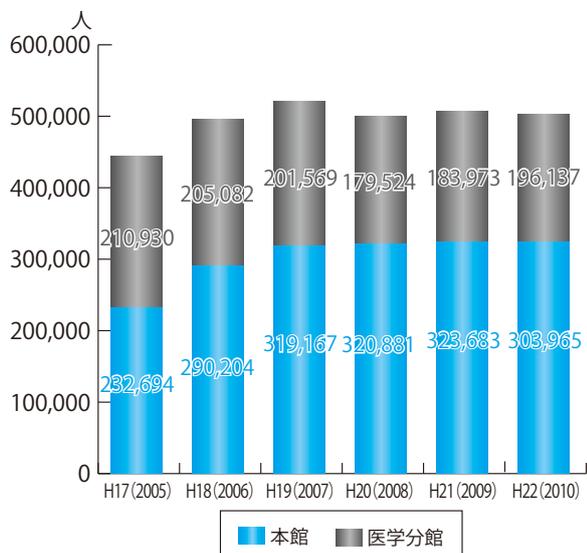
	本館	医学分館
平日	229	242
土・日・祝日	111	108
合計	340	350

(日) 利用対象者数

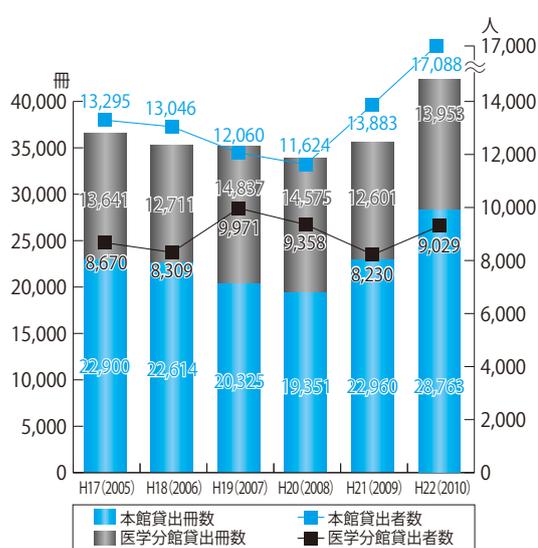
(平成23 (2011)年5月1日現在) (人)

	本館	医学分館	合計
学生	6,458	1,077	7,535
教職員	930	1,276	2,206
合計	7,388	2,353	9,741

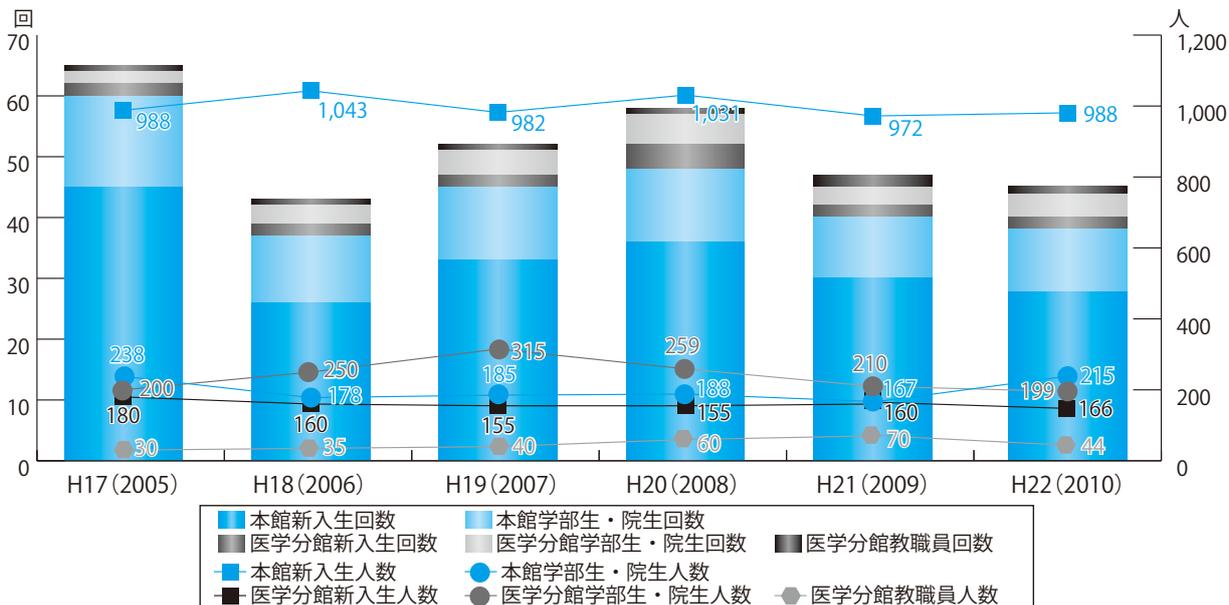
入館者数



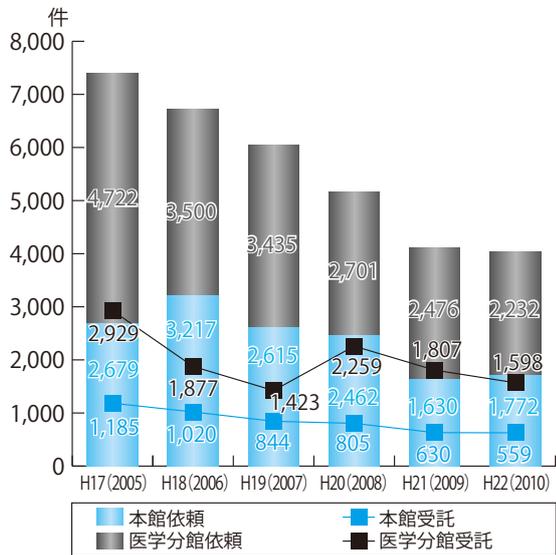
貸出冊数と貸出者数



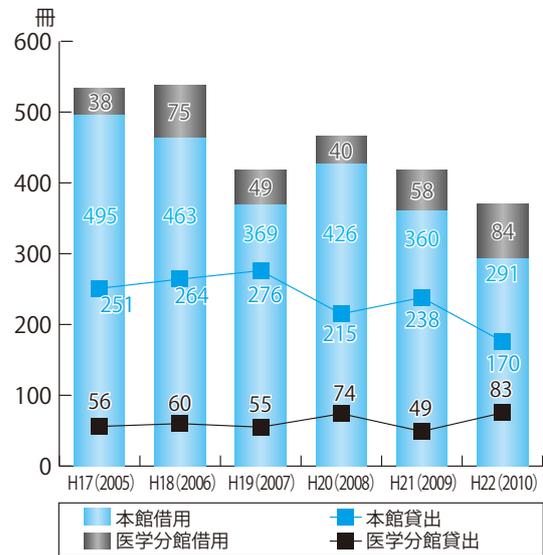
オリエンテーション(図書館案内)



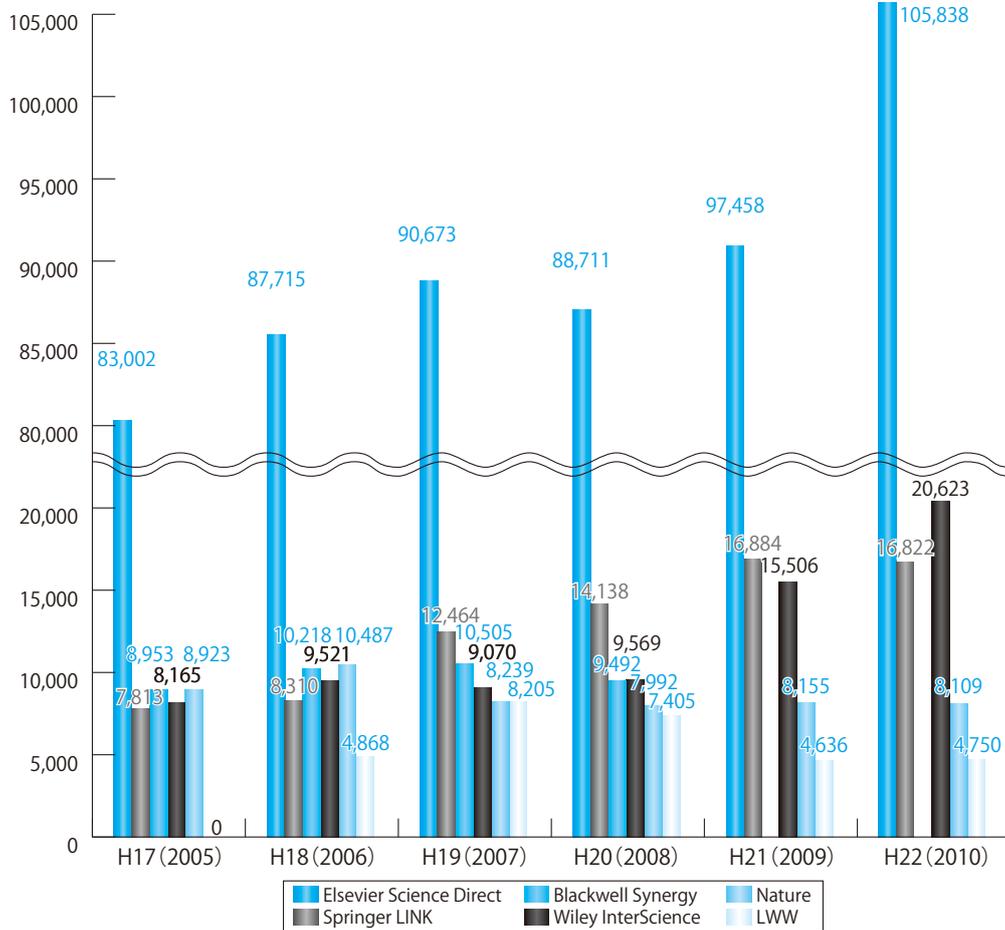
文献複写件数



相互貸借冊数



電子ジャーナル利用件数



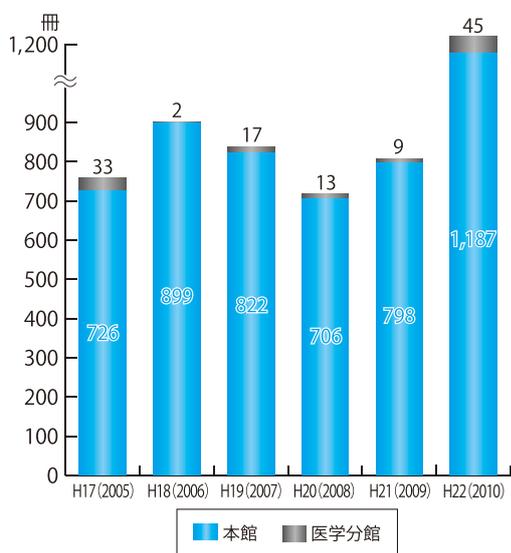
・LWWはH17(2005)契約中止 ・BlackwellとWileyはH21(2009)統合

文献データベース利用件数

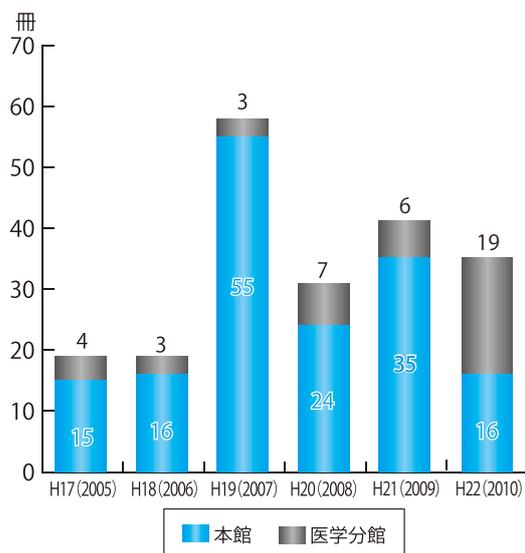
年度	CiNii	間蔵	ヨミダス 歴史館	ジャパン ナレッジ	日経テレコン	日経BP 記事索引	医中誌 Web	SciFinder	Academic Search Premier	Ovid	UpTo Date	
H17 (2005)	(12,422)	—	/	/	—	/	137,606	4,564	/	12,680 (26,507)	5,350	
H18 (2006)	(17,820)	700			—		233,763	4,470		15,659 (40,298)	5,117	
H19 (2007)	11,294 (40,421)	595			—		240,670	4,186		16,721 (36,578)	4,880	
H20 (2008)	14,145 (42,702)	759			(263,106)		(3,430)	235,026		4,159	12,684 (23,447)	3,197
H21 (2009)	12,750 (72,456)	928			(216,239)		(2,824)	255,142		3,859	7,348	2,533
H22 (2010)	21,901 (86,606)	1,240	(5,627)	398	(267,335)	(2,274)	17,172 (258,413)	3,049	3,726	9,586 (20,880)	2,889	

\* 括弧内は検索回数又は本文利用回数 \* “—”は統計データなし

一般市民への貸出冊数



県内公共図書館への貸出冊数



## 人事異動

〈平成22年4月1日～平成23年4月1日〉

異動区分	発令年月日	氏名	現職	異動内容
併任	22.4.1	稲岡 司	附属図書館長	
併任	22.4.1	吉田 裕樹	附属図書館副館長	
転任	22.4.1	野村 正人	学術研究協力部情報図書館課長	島根大学学術国際部図書情報課長
配置換	22.4.1	松尾 康和	学術研究協力部情報図書館課係長(総務主担当)	事務局主幹付係長(事務用機器・システム主担当)
配置換	22.4.1	龍 翼	学務部学生生活課係長(授業料免除主担当)	学術研究協力部情報図書館課係長(総務主担当)
配置換	22.4.1	上原 ひろ美	学術研究協力部情報図書館課主任	学術研究協力部研究協力課主任
配置換	22.4.1	猿渡 啓介	学務部教務課主任	学術研究協力部情報図書館課利用主任
勤務命令	22.4.1	木村 伸子	附属図書館本館	附属図書館医学分館
勤務命令	22.4.1	野口 順子	附属図書館医学分館	附属図書館本館
配置換	22.7.1	小林 直樹	農学部主任(附属資源循環フィールド科学教育研究センター)	学術研究協力部情報図書館課主任
配置換	22.7.1	秋山 幸子	学術研究協力部情報図書館課主任	文化教育学部主任

## 図書館日誌(行事・会議・研修等)

## 平成22年

- 4月1日 図書館情報誌「さらり」2号発行
- 4月22日 第40回九州地区国立大学図書館協会総会  
(当番館:九州工業大学附属図書館 於:福岡ガーデンパレス)
- 4月23日 第61回九州地区大学図書館協議会総会  
(当番館:福岡県立大学附属図書館・九州歯科大学附属図書館・  
北九州学術研究都市学術情報センター 於:福岡ガーデンパレス)
- 5月12日 平成22年度第1回附属図書館医学分館運営委員会(メール会議)  
「学生希望図書選定について」
- 5月28日 平成22年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会  
(理事館:北九州市立大学 於:北九州市立大学2号館2F)
- 5月28日～6月3日 平成22年度第1回附属図書館選書専門委員会(メール会議)  
「平成22年度学生選書委員の選考について」他
- 5月28日 地区助成事業計画書に基づくワーキンググループ会議  
(於:九州大学附属図書館)
- 6月7日～18日 職場体験学習受入  
佐賀大学文化教育学部特別支援学校中学部3年 1名(男子)
- 6月15日 平成22年度第1回附属図書館運営委員会  
「平成21年度決算及び平成22年度予算について」他
- 6月16日～22日 平成22年度第2回附属図書館選書専門委員会(メール会議)  
「本館学生用図書(学科推薦図書)の購入について」
- 6月18日～19日 第57回国立大学図書館協会総会  
第2回国立大学図書館協会館長フォーラム  
第6回国立大学図書館協会マネジメント・セミナー  
(当番館:北海道大学附属図書館 於:札幌パークホテル)
- 6月22日 平成21年度C S I 委託(コンテンツ系)事業報告交流会(於:国立情報学研究所)
- 6月22日 学術情報セミナー2010 in 福岡  
(於:九州大学附属図書館)
- 6月25日 I L Lシステム講習会(於:九州大学附属図書館)
- 6月28日～30日 平成22年度第2回附属図書館運営委員会(メール会議)  
「附属図書館中期計画・年度計画について」
- 7月4日 平成22年度九州地区国立大学法人職員採用事務系(図書業務)二次専門試験  
(於:九州大学附属図書館)
- 7月22日 平成22年度第2回附属図書館医学分館運営委員会  
「平成21年度決算及び平成22年度予算(案)について」
- 7月28日～30日 平成22年度学術ポータル担当者研修  
(於:名古屋大学附属図書館)
- 7月31日 図書館報「ひかり野」34号発行
- 8月3日～4日 平成22年度佐賀大学新採用事務系職員研修  
(於:菱の実会館多目的室)

- 8月6日 平成22年度佐賀県大学図書館協議会総会  
(当番館:九州龍谷短期大学図書館 於:九州龍谷大学図書館)
- 8月19日 第1回学生選書ツアー(於:福岡市 福岡市総合図書館、ジュンク堂福岡店)
- 8月20日 医学分館で防災訓練を実施
- 8月30日 平成22年度第1回福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会  
(当番館:久留米工業高等専門学校図書館 於:久留米工業高等専門学校図書館)
- 9月6日 第2回学生選書ツアー(於:佐賀市 紀伊國屋書店佐賀店、佐賀県立図書館)
- 9月7日 平成22年度佐賀大学リーダー研修(於:菱の実会館多目的室)  
～8日
- 9月8日 平成22年度目録システム講習会(図書コース)(於:熊本大学附属図書館)  
～10日
- 9月10日 平成22年度特別啓発研修(全9回)(於:菱の実会館多目的室)  
～1月28日
- 9月14日 平成22年度第3回附属図書館運営委員会(メール会議)  
～24日 「利用者アンケートの実施について」他
- 9月15日 平成22年度第3回附属図書館医学分館運営委員会(メール会議)  
「教育・研究用推薦図書の推薦結果について」
- 9月16日 「佐賀大学附属図書館」の看板設置(10月1日お披露目)
- 9月16日 平成22年度佐賀大学接遇・マナー研修(於:菱の実会館多目的室)
- 9月27日 本館で防災訓練を実施
- 9月28日 佐賀大学副課長級研修(於:菱の実会館多目的室)  
～29日
- 10月1日 平成22年度著作権セミナー(担当:熊本県教育庁文化課 於:メルパルク熊本)
- 10月6日 平成22年度九州地区国立大学法人等テーマ別研修  
～8日 (当番館:鹿児島大学 於:鹿児島大学連合農学研究科棟)
- 10月15日 第58回九州地区医学図書館協議会総会(於:グランデはがくれ)
- 10月27日 Library Lover's Week  
～11月9日
- 11月5日 平成22年度佐賀大学評価者研修(於:菱の実会館多目的室)
- 11月8日 平成22年度(第47回)九州地区国立学校会計事務研修  
～12日 (於:鹿児島大学連合農学研究科棟)
- 11月8日 図書館月間資料展示(於:1Fエントランスホール)  
～19日 「和菓子の材料、書籍、小城羊羹の写真パネルなど」
- 11月11日 図書館月間講演会「シュガーロードと和菓子の現状」
- 11月17日 平成22年度第4回附属図書館運営委員会(メール会議)  
～19日 「図書館が関わる情報戦略についての課題について」

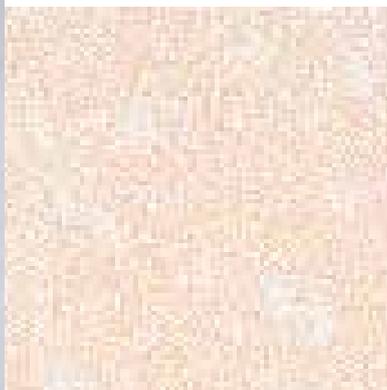
- 11月17日  
～19日 学術情報リテラシー教育担当者研修(於:国立情報学研究所)
- 11月18日  
～24日 平成22年度第3回附属図書館選書専門委員会(メール会議)  
「本館学生用図書(教員推薦図書)の購入について」
- 11月24日  
～25日 第12回図書館総合展(於:パシフィコ横浜)
- 11月24日  
25日  
29日 平成22年度会計基準セミナー(於:図書館会議室)
- 11月26日 第19回九州地区医学図書館員セミナー  
(当番館:鹿児島大学附属図書館 於:鹿児島大学医学部鶴陵会館)
- 11月29日 事務職員向け知的財産研修(於:菱の実会館多目的室)
- 11月29日 平成22年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務(部・課)長会議  
(当番館:九州大学附属図書館 於:九州大学附属図書館)
- 12月3日  
～4日 平成22年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議  
(当番館:九州工業大学附属図書館 於:九州工業大学附属図書館)
- 12月16日  
～22日 平成22年度第1回附属図書館評価専門委員会(メール会議)  
「平成21年度部局等自己点検・評価報告書について」他
- 12月22日 DRF/ShaRe 地域ワークショップ(九州地区)(於:九州大学附属図書館)
- 12月22日 平成22年度佐賀大学派遣受入部署等に対する研修(於:菱の実会館多目的室)

## 平成23年

- 1月6日 平成22年度第4回附属図書館医学分館運営委員会(メール会議)  
「教育・研究用推薦図書追加分の推薦結果」
- 2月1日  
～3日 平成22年度第5回附属図書館運営委員会(メール会議)  
「佐賀大学附属図書館利用規程の改正について」
- 2月10日 平成22年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会  
(当番館:聖マリア学院大学図書館 於:聖マリア学院大学図書館)
- 2月18日 DRF技術ワークショップ in 熊本(於:熊本大学附属図書館)
- 2月21日 公文書管理法制セミナー(於:全国町村議員会館)
- 2月28日 リポジトリ論文集の編集事務に関する協議(於:九州大学附属図書館)
- 3月7日 佐賀大学附属図書館自己点検・評価に関わる外部評価(於:佐賀大学附属図書館)
- 3月10日 平成22年度第4回附属図書館選書専門委員会  
「平成23年度附属図書館蔵書整備計画(案)について」
- 3月17日 第62回九州地区大学図書館協議会総会打ち合わせ(於:九州大学附属図書館)
- 3月29日 平成22年度(第2回)附属図書館評価専門委員会(メール会議)  
「附属図書館の自己点検・評価に関わる学外者検証について」
- 3月30日 平成22年度第6回附属図書館運営委員会(メール会議)  
「附属図書館収蔵力の現状と課題」他

## 貴重書紹介

『和蘭産物考』(洋学資料コレクション)



佐賀大学附属図書館蔵

### 解説

おらんださんぶつずこう

### 和蘭産物圖考全5巻

本書の著者<sup>ふじもとよし</sup>藤元良は、伊勢出身の鍼灸師で、寛政年間(1789～1801)に京都に住んだ。長崎で求めたベルギーのイエズス会士のフェルビースト(南懐仁)の著書をもとにして、寛政9年(1797)に京都の文泉堂より出版したもの。絵入りの世界地誌ともいうべきもので、南蛮の珍獣や風俗、帆船などを描いている。18世紀後半から、我が国の周囲には西洋諸国の船があらわれ、対外的関心が高まりつつあった。そうした背景をもとに出版されたもの。写真は「あないわ」という遊びに興じている黒坊(黒人)の図である。

(地域学歴史文化研究センター教授 青木歳幸)